

売れる米づくり技術情報No.2

～なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい～

令和7年3月21日
J A え ち ご 中 越
なんかん北営農センター

苗の良し悪しは移植後の生育に大きく影響します。移植時期を考慮した播種を実施し、適切な管理とべんとう肥の施用で健苗育成に努めましょう！

1 移植日に合わせた健苗育成のために、適期の播種を行いましょ。

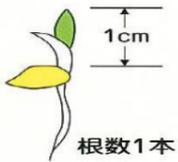
コシヒカリでは8月5日以降の出穂を目指し、5月10日以降の移植をめやすに播種計画を立てましょう。

	コシヒカリBL	こしいぶき	その他品種
播種日	4月20日頃	4月20日頃	4月15日頃
移植日	5月10日頃	5月10日頃	5月5日頃

※その他品種：ゆきん子舞・つきあかり・あきだわら 収量確保のため5月上旬までに移植。

2 育苗段階に応じた適切な管理で、良好な生育環境を作りましょう。

★稚苗のハウス管理

段階	出芽期	緑化期	硬化期
終了の判断	出芽長 コシヒカリ 0.5~1cm こしいぶき 1cm 	第1葉鞘長 3.5cm	苗丈 12cm 葉齢 2.0葉
温度(°C)	昼間 30°C 夜間 30°C (加温) 10°C以上 (無加温)	昼間 20~25°C 夜間 15~18°C	昼間 15~20°C 夜間 10°C以上
日数の目安	2~3日 (無加温育苗は5~7日間)	2~4日	12~14日



★マット強度を確保するためのポイント

- ・育苗ハウスはビニールを早めに張り、ハウス内を乾かしておく。
- ・かん水は過湿・過乾を防ぐため量に注意し、育苗箱内の温度低下を防ぐため夕方は行わない。
- ・適期に播種したうえで、マット強度不足の場合は育苗日数を延長する。

★プール育苗の管理について

緑化期までは稚苗無加温育苗の管理に準じます。

(1) 水管理

- ①入水開始は、緑化が終了し、被覆資材をとる 1~1.2 葉期頃。最初は育苗箱の床土面まで湛水する。
- ②水深が浅いところで 1 cm 以下になったら草丈の半分まで湛水する。

(2) 温度管理

- ①入水前まではヤケ苗が発生しやすいので注意。
- ②プールを湛水状態にしたなら、原則として終日ハウスを開放し換気しておく。極端な低温が予想される場合はハウスを閉める。

★被覆資材の特徴(無加温育苗)

- 保温シート
 - ・ラブシート
適度な通気で、高温多湿、乾燥状態に陥ることなく、葉ヤケからも保護する。
 - ・ミラシート
保温効力・光の透過性に優れる。
- 遮光材(シルバーポリトウ)
遮光性・保温性に優れるが、内部温度が上がりやすいため、高温時は葉ヤケに注意する

露地プール育苗はハウス資材の削減やハウスの温度管理等の労力軽減したい稲作農家にオススメだよ！

トラクターで田んぼから公道に出るときは、泥をよく落としてね！



3 移植後の良好な初期生育を確保するため、耕深 15cm を目標とした耕起と丁寧な代かきに努めましょう。

耕起	<ul style="list-style-type: none"> ・根の分布を広げ、健全な発達を促すため、耕深 15cmを目標とする。 ・急激な深耕は避けて、毎年1~2cm ずつ掘り下げて目標値に達するようにする。 ・耕深を均一にし、稲わらの腐熟を促進するため、圃場が乾いた状態で行う。
代かき めやす 移植 2~3日前	<ul style="list-style-type: none"> ・粘質な土壌では表層(5cm 程度)だけ細かくし、下層に土塊が残るようにする。 ・砂質土壌では入念に行い、漏水を防ぐ。 ・高低差 3~4cm 以内の均平に仕上げる。 ・代かき水には肥料などが溶けているので、代かき直後は絶対に排水しない。

土を練りすぎないように注意！

※播種以前の技術対策については、前号(No.1)をご覧ください。

移植後の水管理で初期生育と除草効果の確保に努めよう

4 田植え 4~5 日前のべんとう肥で活着促進！品種特性に合わせた適正な栽植密度・植え付け苗数で移植しましょう。

(1) 移植前追肥で苗の老化防止・活着促進 ~めやす：移植前 4~5 日(1.8 葉期)~

品名(窒素成分)	施用量/1箱	窒素成分量/1箱	施用上の留意点
べんとう肥(8%)	15g	1.2g	追肥後は必ず軽くかん水する。
くみあい液肥2号(10%)	100倍希釈して1斗散布	1g	軟弱苗・徒長苗に施用しない。

(2) 適正な栽植密度と植付け深さで過剰生育防止・薬害防止

基本の栽植密度	植付け苗数	植付け深さ
コシヒカリ BL	50 株/坪 めやす：2.0 葉苗を 3~4 本	めやす：2~3cm
こしいぶき	60 株/坪 密植⇒過繁茂になり、細莖化	深植え⇒下位分けつ発生が抑制される
その他品種	60 株/坪 極端な疎植⇒穂数不足	浅植え⇒浮き苗や除草剤の薬害発生

【育苗作業時の注意点】

① 出芽期

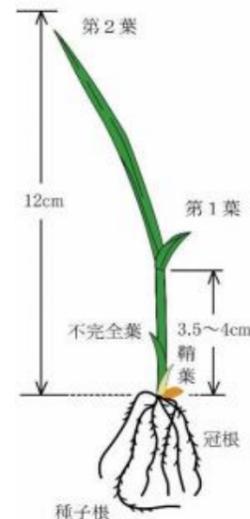
- ・かん水：播種時に充分行う。
- ・ハウス内は30°Cを超えないように換気する。

② 緑化期

- ・かん水：床土が乾いている場合は午前中10時頃までにしっかり行う。
- ・ハウス内が30°Cを超えないように換気する。(好天時は温度の急上昇に注意！)
- ・こしいぶきは苗丈が短くなりやすいため、コシヒカリより緑化期間を1~2日長めとする。

③ 硬化期

- ・かん水：前半/午前中1日1回 後半/乾燥具合により午後3時まで1日2回
- ・後半は外気に慣らして徒長を防止するため、終日換気する。



※第1葉鞘長と苗丈のイラスト図

5 生育ステージに合わせた適正な水管理を行い、初期生育を確保しましょう。

生育ステージ	水管理のポイント
移植後～活着まで	3～5cmの深水とし、低温や風による植傷みを防ぐ。
活着後	2～3cmの浅水とし、水温の上昇を図り、分けつの早期発生を促す。

☆寒い日・強風時は深水にして苗を保護する（天気予報を確認）

根の発育を促すため、ワキの発生を防止しましょう！

・水田に足を踏み込んだとき気泡の発生が多い場合は、水の更新や夜干しにより、ガス抜きをする

6 雑草防除は一発処理剤の使用を基本とし、雑草の種類や圃場条件などに応じて除草体系を選択しましょう。

(1) 除草体系の考え方

基本体系	適用条件	移植日～
一発処理	代かき～移植までの期間が短い場合	初中期一発剤
体系処理	代かき～移植までの期間が長い場合・水持ちが悪い場合	初期剤・初中期一発剤

○残草した場合は中・後期除草剤を散布しましょう。

○藻類・表層剥離が発生してしまうと薬剤の拡散不良による薬効の低下に繋がります。

【JA おすすめ除草剤のご紹介】

◀初期除草剤▶ ●先陣（成分数2）※藻類・表層剥離に高い効果を示します。

- ・ヒエ、ホタルイ、広葉、多年生雑草に即効的な効果があり、表層剥離・藻類に高い効果があります。
- ・剤型：ジャンボ・FG剤

◀一発処理除草剤▶ ●カイリキZ（成分数3）※令和7年度こだわり米適用剤

- ・幅広い種類の雑草や難防除雑草にも有効です。ヒエ3葉期、クログワイ、オモダカ、クサネム、イホクサ
- ・剤型：1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

◀省力散布除草剤薬粒（一発処理除草剤）▶

●ノックアウト（成分数4）

- ・主要雑草、アオイトロ・藻類による表層剥離にも有効です。ヒエ3.5葉期、ホタルイ、クログワイ、オモダカ

●サキガケ（成分数3）

- ・主要雑草、難防除雑草のイホクサにも高い効果を示します。ヒエ3葉期、ホタルイ、ウリカワ、オモダカ

◎薬粒の上手な使い方



田んぼに入らず、楽しく！楽しく！省力散布！！



7 育苗箱施用剤は病害虫の発生動向を踏まえて選定しましょう。補植苗は葉いもちの伝染源になるので補植が終わったら直ちに除去してください。

◎いもち病に効果のある箱処理剤については、前回発行した農業使用方法をご確認ください。

8 農道・畦畔に使える『カソロン』のご紹介

農道・畦畔の雑草管理をラクにしませんか？

春に始める
農道・畦畔
雑草防除の
定番！！

カソロン® 粒剤 6.7

ホクコー
カソロン® 粒剤6.7が
長期間にわたって
雑草をしっかり防除！



使用事例



9 今後1ヶ月の気象予報

北陸地方 1か月予報 (03/15~04/14)	
2025年03月13日14時30分 新潟地方気象台発表	
特に注意を要する事項	1週目の気温は低いです、2週目はかなり高くなる可能性があります。期間の前半は、気温の変動が大きいです。
向こう1か月 03/15~04/14	天候 天気は数日の周期で変わるでしょう。
1週目 03/15~03/21	気温 1週目は、低い確率60%です。
2週目 03/22~03/28	気温 2週目は、高い確率60%です。

【お問い合わせ先】 なんかん北営農センター米穀課/0256-47-1429